

科目名	看護科学論 Topic in Nursing Science
授業形態	講義(70%)と演習(30%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春学期 A・B 木曜日 5・6限目
単位数	2単位
担当教員名	竹熊カツマタ麻子 Asako.T.Katsumata 森 千鶴 Chizuru Mori 水野 道代 Michiyo Mizuno 柴山 大賀 Taiga Shibayama 涌水 理恵 Rie Wakimizu 杉本 敬子 Keiko Sugimoto トゴバタラ・ガンチメゲ Togoobaatar Ganchimeg 福澤 利江子 Rieko Fukuzawa
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	
オフィスアワー等	随時(メールで予定を確認の上訪問すること)
授業の到達目標 (学習成果)	1. 看護実践の基盤となる看護における諸理論を説明できる 2. 看護に関する諸理論と看護実践との関係について討議を通して説明できる 3. 討議を通して自らの専門領域の科学性について考察し、説明できる 4. 討議を通して自らの看護実践の看護科学における位置づけとその意義を説明できる 5. 他の学生との討議の際には、他者の考えを理解し、その向上のためになる質問や討議を展開する
他の授業科目との関連	
履修条件	特になし
授業概要	卓越した看護実践の基盤となる看護における諸理論や看護に関する諸理論と看護現象との関係について理解を深める。さらに看護に関する普遍的な法則性の追究、看護の経験的あるいは実証的な合理性の明確化などを通して看護を科学的に探求する。
キーワード	看護理論、看護実践、Nursing Theory、Nursing Practice
授業計画	1, 2(4/11) 看護における知と知識の構築(カツマタ) 3, 4(4/18) 国際母子保健領域における理論とモデル(福澤・ガンチメゲ) 5, 6(5/14 1・2限) 看護管理、クリニカルリーダーシップの領域で用いられる理論とモデル(カツマタ) 7, 8(5/16) 中範囲理論の研究への活用(杉本) 9, 10(5/23) 家族看護・小児看護領域における理論とモデル(涌水) 11, 12(5/30) 精神科領域で活用される中範囲理論(森) 13, 14(6/6) 科学的根拠に基づく看護実践:Evidenced Based Practice(EBP) とそのモデル(カツマタ) 15, 16(6/13) がん看護領域の実践や研究に用いられる理論とモデル(水野) 17, 18(6/20) 慢性病や生活習慣病に関わる看護実践や研究に応用される理論とモデル(柴山) 19, 20(6/27) 看護理論の分析と実践への応用: 学生のグループ発表とディスカッション(カツマタ)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	パワーポイントのプレゼンテーション資料を作成し、そのプリントを学生と教員分を作成する
成績評価方法	授業講義への貢献度 及び各単元の課題による評価 (72%) (各単元担当教員による評価 $8\% \times 9 = 72\%$) グループプレゼンテーションと質疑応答 (28%) 評価基準 プレゼンテーションの評価基準は下記のとおりである A+ 課題にそって学習した内容を考察も含めて相手にわかりやすくプレゼンテーションでき、他のプレゼンテーションに対しても質問しディスカッションできる A 課題にそって学習した内容を考察も含めて相手にわかりやすくプレゼンテーションでき、他のプレゼンテーションに対して質問できる B 課題にそって学習した内容を考察も含めてプレゼンテーションできる C 課題にそって調べた内容をプレゼンテーションできる D 課題にそって学習したことを反映したプレゼンテーションができない

教材・参考文献・配布資料等	ペギー・チン&メオーナ・クレイマー「看護学の総合的な知の構築に向けて」第6版翻訳 エルゼビア・ジャパン、2007年〔原版： Chinn, P.L. & Kramer, M.K. (2011) Integrated theory and knowledge development. (8th edition). Elsevier Mosby.〕
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	5月14日(火曜日)の I&II 時限に授業が予定されているため注意すること。